

## 超域研究機構

「成長円錐の分子基盤に基く神経回路の形成と修復の総合的研究」担当助教の公募

1. 所属 超域研究機構

2. 募集人員 助教1名

3. 研究分野 神経科学, 細胞生物学, 医科学一般

4. 募集背景

超域研究機構では、平成23年4月から、「成長円錐の分子基盤に基く神経回路の形成と修復の総合的研究」を発足させる。このプロジェクトは研究プロジェクトリーダーの研究を基盤として、プロテオミクス等の研究手法により、神経成長に必須の分子機構に関係する遺伝子改変マウスの作成及びその解析から、脳の構築機構を解明し、損傷後の修復機序を可能とする研究を実施する。特に軸索ガイダンス機構への影響、蛋白質リン酸化に関する生化学機構、成長円錐挙動の細胞生物学的解析、プロテオグリカンに関する神経発生および神経再生に関する研究を、集中的に実施することで、上記内容を重点的、総合的に推進するものである。

5. 職務内容

上記の目的に即し、軸索ガイダンスに関する遺伝子改変マウスの作成・解析の分野を担当する。

6. 勤務形態

常勤（任期あり）再任1回可 最初の任期は平成24年3月31日までとし、再任の場合の任期は平成29年3月31日までとする。

7. 勤務地 新潟大学旭町キャンパス

8. 応募資格

- (1) 博士の学位を有すること（学位取得見込みを含む）。
- (2) 神経科学, 細胞生物学, 生化学（医化学一般）に関する専門知識を有すること。

9. 待遇 国立大学法人新潟大学職員給与規程による。

10. 募集締切 2011年2月10日(必着)

11. 着任時期 2011年04月1日(予定)

## 12. 応募書類

(1) 履歴書（写真付き）

(2) 研究業績書

- ・著書，学術論文，その他，最近5年間の主な学会発表等に区分して記述する。
- ・主要論文（3編以内）の要約（400字程度）と別刷を添付する。

(3) 外部資金の応募状況を記載したリスト

（採否にかかわらず，資金の名称，年度，題目，研究代表・分担の別，金額等を明記）

(4) これまでの研究の概要及び採用された場合の研究の抱負を各800字程度にまとめたもの。

(5) 候補者を良く知る照会者2名の氏名，連絡先。

※封筒に「神経科学担当助教応募書類在中」と朱書きの上，簡易書留とすること。

※応募書類は返却しません。応募に関する秘密は厳守します。また，本公募手続きにより本学が取得した応募者の個人情報「独立行政法人等の所有する個人情報の保護に関する法律」に基づき，適正に管理します。

## 13. 選考内容

書類選考を通過した者は面接選考を行う（面接に要する旅費は支給しない）。

## 14. 連絡先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐二の町 8050 番地

新潟大学研究支援部研究助成課

Tel:025(262)6602 Fax:025(262)5645

E-mail:mcyama@adm.niigata-u.ac.jp

（研究内容の問合せ） 新潟大学医歯学系分子細胞機能学（医学部生化学第二）

教授 五十嵐 道弘 tarokaja@med.niigata-u.ac.jp

## 15. 備考

参考：新潟大学超域研究機構，及び本超域研究機構プロジェクトのプロジェクトリーダーの研究内容については，下記ホームページを参照してください。

新潟大学超域研究機構：<<http://www.niigata-u.ac.jp/transdiscipline/index.html>>

新潟大学医歯学系分子細胞機能学（医学部生化学第二）：

<<http://www.med.niigata-u.ac.jp/bc2>>